



やまもも ニュース楊梅

令和2年 8月25日発行 第52号

発行責任者 藤田 久雄

発行所 社会福祉法人 土佐厚生会 (南国市左右山290-2 TEL.088-862-3444)

印刷所 就労継続支援B型事業所 ウィール社 <http://www.tosakouseikai.or.jp>

こくふ塾を開催しました！

令和元年度、障害者支援施設こくふでは上田真弓施設長発案の「こくふ塾」を開催しました。20代の若手スタッフが毎月、外部講師から様々なことを学びました。



元KUTVの講師には「伝わる伝え方」を！



仕事のやりがいと楽しさではスイッチ製作を！



休憩中はもぐもぐタイム(お菓子)も！



塾卒業の証に施設長の著書と愛(お菓子)を！

～受講したスタッフの感想～

仕事中、何気ない会話でも利用者様や周囲を傷つけてしまっているのではないかと感じた。普段、私は思いついたことをすぐに口に出してしまうので、その会話が成立しているのは利用者様の思いやりがあるからこそだと教えてもらったときにハッとなった。会話など相手の立場に立った考え方で発言し、思いやりのある行動を取れるように努力したい。

人と人の助け合いが大切だと感じた。1人では無理なことも誰かと一緒なら気持ち的にも安心するし、頑張ろうと思うので周りの人を大切にしたいと思った。

手足が動かせない人も身体の中でどの部位が動かせるのかを理解し、その部分を使うことで誰かにしてもらわなければできなかったことが自分自身でできるようになる。そうして自分でできることがどんどん増えれば、よりその人らしい生活を送ることにつながると感じた。

今後、利用者様と関わる上で大切だと感じたこととして、1点目は利用者様の興味や変化に気付けるようアンテナを張ること。2点目は家族様やチームと相談できるようコミュニケーションを取れるようにすること。3点目はチームに伝えること。これらが大切だと思った。

仕事をしていればほとんど辛いことしかないけれど、楽しいことを見つけることでやりがいを見つけ出すことができるというのは本当にそうだと思った。

日々、業務の決まったことをするだけではなく「どのように働くか」「自分がどうなりたいたのか」を考えて実行していけたらと考えた。

印象に残ったのは利用者様や家族様、職員に見られている意識を持ち、行動することが大切だということ。

新採職員研修を開催しました！

～入職おめでとうございます～

特別養護老人ホーム八流荘	介護員	植田 里紗
障害者支援施設こくふ	生活支援員(介護)	公文 むく

令和2年4月、土佐厚生会に新卒スタッフ2名が入職しました。約3週間の新採職員研修で社会人としての心構えや介護の基礎知識を学びました。



先輩スタッフから体験を通して学びました！



研修最後の日には緊張もとれて笑顔でした！

研修後には「少しでもいい支援、介助ができるようになりたい」「先輩に質問し、利用者様に声かけをして、信頼関係を築きたい」との感想がありました。これから、先輩の支援のもと職場をフレッシュなパワーで盛り上げていきましょう！

NPO法人「結人の紬」と業務提携しました！

令和元年12月、土佐厚生会はNPO法人「結人の紬」と業務提携を結び、姉妹法人の提携式を行いました。

「結人の紬」は高知県南国市に拠点を置き、障がい者の就労支援事業を行っています。提携式では、本会の藤田久雄理事長から結人の紬の坊岡正之理事長へ提携書が手渡され、両者が固い握手を交わしました。

両事業所のスタッフで記念撮影



坊岡理事長(左)と藤田理事長(右)で握手

坊岡理事長は大学の教授経験などから、リハビリテーション工学や社会福祉など、障害者福祉を専門とし、福祉用具や介護ロボットの開発にも取り組まれています。提携式でも介護現場のニーズを反映した機器やロボット開発などが話題となっていました。本会と同じ地域に位置する法人であることから、今後盛んな連携がとれるようにしていきたいです。

スタッフのリレーエッセイvol.5「スケボーは楽しいですよ」

障害者支援施設とマ 理学療法士 松本章吾

20歳代半ばでスノーボードにハマったのですが、ゲレンデのオフシーズンが来たきっかけで、スケートボード（以下「スケボー」）を始めました。

軽い気持ちで始めたのですが、スノーボードよりもスケボーにハマってしまい、完全にスケボーが趣味となりました。現在33歳ですが、飽きることはなく、むしろ日々楽しくなっています。

スケボーは、東京オリンピックの種目となっており、注目度が高まっています。しかし、野球やサッカー等、メジャーなスポーツと比べると練習できる場所がまだまだ少ないです。

オリンピックをきっかけに練習場所が増え、老若男女を問わず、スケボーを皆が楽しめるような環境になることを願っています。

オシャレな練習場所！



※新型コロナウイルスの流行前に執筆いただきました。

～土佐厚生会後援会に下記の皆様からご寄付いただきました～

いつも本会をご支援いただき誠にありがとうございます。

【集計期間：平成31年4月1日～令和2年3月31日】

(五十音順 敬称略)

- 株式会社 安芸ガス
- 株式会社 ASA設計事務所
- 税理士法人アラタ
- 有限会社 池澤設備
- 有限会社 いだいハイヤー
- 株式会社 一寿司会館
- 今村クリーニング店
- 株式会社 魚国総本社 中四国支社
- エイト産業株式会社
- 有限会社 大崎石油
- 株式会社 岸之上工務店
- 岸防水工業有限会社
- グッドラックカンパニー株式会社
- 有限会社 現代空調
- 有限会社 高知医療器商会
- 株式会社 高知ガス
- 株式会社 高知ボイラ工業
- 株式会社 コトブキ
- 小松建設株式会社
- 坂本孝華園
- サンガリア商事株式会社



- 四国管財株式会社
- 有限会社 仙頭自動車
- 仙頭石油店
- 株式会社 第二建設センター
- 太平産業株式会社
- 有限会社 匠芸
- 中澤氏家薬業株式会社
- 株式会社 中島工務店
- 株式会社 永野基礎
- 有限会社 浜口保険事務所
- 有限会社 浜すし
- 有限会社 濱田ポンプ商会
- ひまわり乳業株式会社
- フィットきたむら
- 有限会社 フジタ電器
- フジマック株式会社
- 有限会社 フジムラ
- フジヤ
- フューチャー
- 有限会社 マエダ設備工業
- 有限会社 山重食肉



以上

就職フェアに参加しました！

令和2年2月、高知市「かるぽーと」で開催されたふくし就職フェアに参加しました。2年目と5年目のスタッフが法人のプレゼンテーションとブースで求職者の対応を行いました。プレゼン発表は、制限時間内に想いを伝えるためのエピソードや文言に試行錯誤しましたが、本番にはきっちりと仕上げている、二人が頼もしく感じました。



発表した2名と飾りつけたブースです！



ブースに来た学生に説明中！

令和2年7月にはwebふくし就職フェアが開催され、ビデオ通話を活用した面談を行いました。施設長と採用担当者が画面越しの学生に笑顔で対応していました。

想定していたよりスムーズにやりとりができた一方、対面でのPRや施設見学時のように求職者の人柄や反応を見ることが難しいというもどかしさがあり、これからより一層の工夫をしなければならぬと感じるきっかけとなりました。



身振り手振りを交えながら説明しました！

永年勤続表彰者一覧

令和2年1月11日、高知市「セリーズ」にて永年勤続表彰式を行いました。受賞された皆様、誠におめでとうございます。

① 理事長表彰

(要件：本会后援会役員を10年以上務めた者)
小松 道明 様 (土佐厚生会后援会 会長)

② 永年勤続表彰 (役員の一部)

(要件：本会役員、評議員、施設運営委員を11年以上務めた者)
坂本 孝幸 様 (土佐厚生会 評議員)
吉永 文明 様 (やながれ地区 施設運営委員)

③ 永年勤続表彰 (職員の一部)

(要件：勤続13年以上の本会スタッフ)
障害者支援施設こくふ 中川 友紀 生活支援主任 (介護)
障害者支援施設こくふ 小松 和之 生活支援員 (介護) 兼 用務員
特別養護老人ホーム八流荘 浜渦 真理子 介護員
障害者支援施設とさ 結城 万理 生活支援員 (介護)
障害者支援施設とさ 今川 千明 看護師 兼 機能訓練指導員



藤田理事長から表彰を受けました！

令和元年度決算報告

貸借対照表

令和2年3月31日現在

社会福祉法人土佐厚生会

資産の部		負債の部	
	当年度末		当年度末
流動資産	1,419,495,500	流動負債	183,585,925
現金預金	1,172,131,225	短期運営資金借入金	0
事業未収金	239,294,525	事業未払金	158,234,764
未収補助金	5,891,120	預り金	4,755
商品・製品	0	職員預り金	900,406
原材料	0	前受金	0
立替金	741,856	仮受金	20,000
前払費用	998,114	賞与引当金	24,426,000
仮払金	438,660		
固定資産	2,506,264,925	固定負債	69,706,884
基本財産	1,107,138,063	退職給付引当金	67,399,614
土地	341,090,457	役員退職慰労引当金	2,307,270
建物	766,047,606	負債の部合計	253,292,809
その他の固定資産	1,399,126,862	純資産の部	
土地	245,104,709	基本金	171,191,999
建物	13,403,774	国庫補助金等特別積立金	499,291,649
構築物	13,563,256	その他の積立金	898,141,574
機械及び装置	1,498,134	移行時特別積立金	2,360,770
車輛運搬具	6,658,070	介護施設積立金	224,968,750
器具及び備品	68,177,846	支援施設積立金	653,865,630
建設仮勘定	47,736,000	就労支援事業積立金	16,946,424
権利	28,676,356	次期繰越活動増減差額	2,103,842,394
ソフトウェア	6,400,109	(うち当期活動増減差額)	△ 10,912,483
退職給付引当資産	67,399,614		
役員退職慰労引当資産	2,307,270		
移行時特別積立資産	2,360,770		
介護施設積立資産	224,968,750		
支援施設積立資産	653,865,630		
就労支援事業積立資産	16,946,424		
その他の固定資産	60,150		
資産の部合計	3,925,760,425	純資産の部合計	3,672,467,616
		負債及び純資産の部合計	3,925,760,425

資金収支計算書

(自) 平成31年4月1日 (至) 令和2年3月31日

社会福祉法人土佐厚生会

勘定科目		決算 (B)
事業活動による収支	収入 事業活動収入計 (1)	1,493,085,800
	支出 事業活動支出計 (2)	1,454,390,359
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	38,695,441
施設整備による収支	収入 施設整備等収入計 (4)	5,422,000
	支出 施設整備等支出計 (5)	210,535,212
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△ 205,113,212
その他の活動による収支	収入 その他の活動収入計 (7)	573,984,182
	支出 その他の活動支出計 (8)	27,199,547
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	546,784,635
予備費支出(10)		0
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)		380,366,864
前期末支払資金残高(12)		879,968,711
当期末支払資金残高(11)+(12)		1,260,335,575

事業活動計算書

(自) 平成31年4月1日 (至) 令和2年3月31日

社会福祉法人土佐厚生会

勘定科目		当年度決算 (A)
サービス活動増減の部	収益 サービス活動収益計(1)	1,487,869,336
	費用 サービス活動費用計(2)	1,501,432,156
	サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	△ 13,562,820
サービス活動外増減の部	収益 サービス活動外収益計(4)	5,216,464
	費用 サービス活動外費用計(5)	2,798,809
	サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	2,417,655
経常増減差額(7)=(3)+(6)		△ 11,145,165
特別増減の部	収益 特別収益計(8)	5,607,557
	費用 特別費用計(9)	5,374,875
	特別増減差額(10)=(8)-(9)	232,682
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)		△ 10,912,483
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(12)	1,561,220,454
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	1,550,307,971
	基本金取崩額(14)	0
	その他の積立金取崩額(15)	571,235,423
	その他の積立金積立額(16)	17,701,000
次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)		2,103,842,394

「あき」と「南風」移転工事のお知らせ

現在、障害者支援施設あき（以下「あき」）及び小規模多機能型居宅介護事業所南風（以下「南風」）の移転工事を実施しています。
 それぞれ安芸市に位置する事業所ですが、「あき」は築30年を超え、建物の老朽化が進行しており、「南風」は南海トラフ地震の津波浸水予想区域に該当したことなどの理由から両事業所の移転を決定しました。

建物の完成予想図です。施設から太平洋が見渡せます！

※全てイメージ図です。



移転先は、安芸市営球場の西側で、「あき」と「南風」を併設した建物を建築し、令和3年3月に建物完成、令和3年5月に移転・事業開始を予定しています。

なお、地域の皆様にも利用いただけるよう、施設のエントランスに交流スペースを設ける予定です。

また、「あき」は「ステージ桜ヶ丘」として施設名の変更を予定しています。
 ステージ桜ヶ丘という名称は、藤田久雄理事長の『地域が舞台、主役は利用者様』という想いが込められています。

今後、施設の様子は逐次情報発信していきますのでよろしくお願いいたします。

編集後記

土佐厚生会は令和2年7月7日をもって40周年を迎えました。現在、世界各地で未曾有の感染症や災害などが発生しています。私たちの近くでもいつ起きてもおかしくないという状況にあるので、気を引き締めなければならないと感じています。

一方で、ニュース楊梅は明るい話題を分かりやすく発信したいと考え、今回紙面のレイアウトを変更しました。記事等に関するご意見・ご質問があればぜひお聞かせいただければ幸いです。

(法人本部)

YouTubeで土佐厚生会紹介動画を公開しています。QRコードからぜひご覧ください！

